

春 ようこそ学童保育へ!!

編集部

*学童保育は地域によって「学童クラブ」「子どもクラブ」「児童ホーム」「育成室」など、さまざまな名称で呼ばれています。国（厚生労働省）は、「放課後児童クラブ」と呼んでいます（二〇二三年三月現在）。

四月、新たな出会いの季節です。はじめて学童保育と出会う子どもと保護者の方々、そしてすでに学童保育で生活している子どもたちも、新しい関係のはじまりに、さまざまな思いを抱いていることでしょう。

本稿では、新たに子どもが学童保育に通いはじめる方、これまで関わってきた方と一緒に、学童保育の成り立ちと制度の移り変わりをふり返るとともに、学

童保育の役割、「一人ひとりの子どもが

充実した生活をおくれるように、保

護者と指導員が力をあわせていく

「この大切さ」について、あらた

めてたしめあがあります。



子どもたちの「生活の場」

子どもたちは学童保育で、どのように過ごしているのでしょうか。

「ただいま」と学童保育に帰ってきた子どもたちを、指導員が「おかえり！」と迎えます。子どもたちは毎日の「生活の場」である学童保育で、遊んだり、宿題をしたり、団らんしたり、一緒におやつを食べるなどして放課後の時間を過ごします。また、疲れていたり体調が悪いときには、心身を休めて過ごします。みんな近く公園に遊びに行ったり、一日保育の日には昼食づくりを行う学童保育もあります。

このほかに、身のまわりの整理整頓、衣服の調整、清潔の維持、休息などの生活に関する基本的なこと、係当番活動、折々の行事の取り組みなど、生活全般に関するさまざまなことを行っています。

学童保育は、安心して過ごせる「生活の場」であるこ



つづきは本誌をくらんでください

